

事業計画書様式2-(1)

横浜市港南地区センター 指定管理者事業計画書			
提出年月日 平成23年 1月31日			
団体名	港南区区民利用施設協会		
代表者名	会長 高森 政雄	設立年月日	平成 7年 4月 1日
団体所在地	横浜市港南区港南6-2-3 桜道コミュニティハウス内		
電話番号	045-847-5211	FAX 番号	045-847-5262
現在運営している施設名	所在地	運営開始年月日	
横浜市港南地区センター	港南区日野1-2-31	昭和55年 3月25日	
横浜市東永谷地区センター	港南区東永谷1-1-12	平成 9年 6月 8日	
横浜市野庭地区センター	港南区野庭町612	平成14年 2月 9日	
横浜市桜道コミュニティハウス	港南区港南6-2-3	平成12年 4月28日	
横浜市日野南コミュニティハウス	港南区日野南 4-16-1	平成22年11月 1日	
横浜市下野庭スポーツ会館	港南区野庭町136-4	昭和54年 9月22日	
野庭すずかけコミュニティハウス	港南区野庭町346-2	平成 2年 4月25日	
上永谷コミュニティハウス	港南区上永谷4-12-14	平成 3年 4月27日	
日限山コミュニティハウス	港南区日限山2-16-1	平成 4年 4月18日	
港南台コミュニティハウス	港南区港南台2-14-1	平成10年 4月25日	

1 港南区区民利用施設協会に関すること

(ア) 港南区区民利用施設協会の経営方針について

(イ) 港南区区民利用施設協会の事業実績(活動実績)について

(ア) 港南区区民利用施設協会の経営方針について

港南区区民利用施設協会は、地区センター3館、コミュニティハウス6館及びスポーツ会館の合計10施設の運営・管理業務を行い、健全な経営基盤の確立と着実な実績をあげています。

当協会は、

「つとめ、ふれあい、にぎわう」

「地域とともに育ち、育てあう」

をモットーに、長年積み重ねた運営のノウハウ及び地域との連携・信頼関係を生かして、地域住民が身近な場所で、個人利用やさまざまなグループによる活動を、円滑に行うことができるようにします。これにより住民同士の交流が図られ、地域コミュニティが充実されることを目指して、地域に密着した経営に努めます。

運営については、当協会が長期に安定して運営してきた実績を元に、「経営」の視点をもって、これらの施設及び協会事務局がもつ人的、物的資源を連携して活用します。それとともに、各施設の運営については、地域及び利用内容等の特性を尊重し、基本的な共通事項については、可能な限り統一することにより、利用の利便性・公平性の保持を図るとともに、この中で「お客様へのサービス提供」との理念を徹底し、より良い運営に努めていきます。また、運営・管理業務を効率的に行うために、会計経理、労務管理を協会事務局が、一元的に行うことによるスケールメリットを生かすとともに、弾力的な運用を図り、収入の増加及び管理費の節減等に努めます。

(イ) 港南区区民利用施設協会の事業実績(活動実績)について

当協会は、平成7年4月に区民利用施設の管理運営業務を開始し、現在次の10館の運営管理を事務局含めて96人で行っています。この間、地域に密着した運営を行い、利用の拡大とサービスの向上に努めており、地域からも高い評価を得ています。

また、自主事業についても、利用者のニーズ、自主性を取り入れた講座等を実施し、平成21年度の利用実績は443,293人(平成20年度440,023人)となっており、概況は次のとおりです。

施設名	来館者数(人)	自主事業数	左欄の参加延べ人数(人)
港南地区センター	95,774	33	2,876
東永谷地区センター	95,461	36	3,302
野庭地区センター	95,856	32	3,082
桜道コミュニティハウス	34,834	14	512
日野南コミュニティハウス	平成22年11月1日開館		
下野庭スポーツ会館	4,385	4	202
野庭すずかけコミュニティハウス	29,975	12	993
上永谷コミュニティハウス	23,381	11	388
日限山コミュニティハウス	36,058	10	633
港南台コミュニティハウス	27,569	8	319
合同事業			62
合計	443,293	160	12,369

●下野庭スポーツ会館は工事のため11月1日から運営再開。よって5か月間の利用人数

(ウ) 港南区区民利用施設協会の考える情報提供及び情報公開について

情報提供の充実は、

- 1 利用者の増加
 - 2 利用者の情報入手機会の拡大
 - 3 利用者への興味の触発、動機づけ
- のために必要であり、そのために次のことを行う。
- ① 地区センターホームページの活用
 - ② 施設案内パンフレットによる概要、利用方法等のPR
 - ③ 『地区センターだより』の発行
 - ④ 自主事業内容、事業ごとの周知、募集
 - ⑤ 広報こうなん区版の活用
 - ⑥ 港南区ホームページの活用
 - ⑦ 区民活動支援センターでの情報提供
 - ⑧ 他の地区センターやコミュニティハウスでのポスター、チラシの配布、自治会町内会回覧の活用及び掲示版への掲示のお願い
 - ⑨ ケーブルテレビ・ミニコミ紙を媒体として利用、放映・掲載
 - ⑩ 館内にPRコーナーを設置し、館の情報、グループ活動情報の提供等に活用

情報公開は、

施設管理運営の透明性の確保により、利用者の信頼獲得のために必要であり、そのために次の情報を公開する。

- ① 経営方針
- ② 個人情報取扱方法
- ③ 利用要綱
- ④ 苦情・事故の対応方法
- ⑤ 事業計画書・報告書
- ⑥ センター委員会の結果報告
- ⑦ 利用者アンケートの結果報告
- ⑧ 利用者会議の結果報告
- ⑨ 第三者評価の結果報告
- ⑩ その他

以上により、さらなる施設利用者の拡大に向け情報提供、公開の強化、充実に努めます。

事業計画書様式2-(3)

2 港南地区センターの管理運営に対する基本理念に関すること

(ア) 港南地区センターの管理運営を希望する理由について

(イ) 港南区区民利用施設協会における地区センター管理運営の位置づけについて

(ウ) 港南区の特徴や地区センターの設置目的と、運営への反映の考えかた

(ア) 港南地区センターの管理運営を希望する理由について

当協会は、3館の地区センターを含む10施設を運営管理してきた実績を有し、それらの物的、人的資源を連携して活用することにより、単一施設の枠を超えて地域コミュニティの発展に向け、その役割を果たしています。

今後とも港南地区センターを含む複数施設を運営することにより、それぞれの施設の特性を尊重しつつ、蓄積されたノウハウ等を生かすとともに、事業面でも相乗効果を発揮し、お客様に対してさらなる良好なサービスを提供できるものと考え希望するものです。

(イ) 申請団体における地区センター管理運営の位置づけについて

当協会は、区民利用施設の管理運営に際して、地域特性を生かし、地域と協働して地域コミュニティの充実の支援を積極的に行うことを目的に活動してきました。

こうした目標とこれまでの実績をさらに進展させ、港南地区センターが、これからも地域活動の拠点としてふさわしい施設となるよう管理運営を行い、地域に貢献してまいります。

また、港南地区センターは、当協会の運営上の中核的施設であり、複数施設が協力、競い合うことで事業効果をより広範にかつ効果的に展開することが可能となると考えています。

(ウ) 港南区の特徴や地区センターの設置目的と、運営への反映の考えかた

港南区は、市の南部に位置し、面積は約20平方キロメートル(市全体の約4.6パーセント)で、山地や丘陵地のほか、大岡川、平戸永谷川にはぐくまれた平坦な土地も形成しています。大規模な宅地開発や上大岡駅、港南台駅周辺を中心に市街化が急速に進み、交通幹線の発達とともに、成熟した住宅都市、生活文化都市として発展してきています。

平成19年度港南区区民満足度調査では、『地域コミュニティ充実のために必要なもの』として『誰でもが気軽に集まれる場所』と回答した人が各年代とも過半数に達しており、地域に身近な居場所を求めている。

地区センターは、地域の多様な個人やグループが、各人のライフステージにおいて、学習、文化・芸術、レクリエーション・スポーツなどへの欲求実現のために、身近な場所で気軽に活用することにより、生活の潤いと満足度を向上させる場を提供することで、満足と成長の場を提供するものとして、地域コミュニティの充実に貢献しています。

これらのことから、地区センターの運営にあたっては、地域コミュニティや、ふるさと意識の更なる充実・地域課題の解決に向けて活動等の場と機会を提供し、当協会が運営する各施設間の連携により地区センターの機能強化及びサービスの向上に努めています。

事業計画書様式2-(4)

3 港南地区センターの管理運営に対するニーズ等の把握に関すること

(ア) 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方

(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方

(ウ) 他施設や併施設との連携について

(ア) 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方

港南地区センターは、市内でも有数の商業地域である上大岡地区に隣接し、港南区の行政機関が置かれているエリアにあります。この地区は、古くからの住宅地域にあり、近年、マンションが増え、新住民も増えています。また、当地区センターに隣接してスポーツセンターが設置されており、センターまつり、スポーツレクリエーションフェスティバル、自主事業「ウオークラリー」など共同事業を展開することで相互に事業効果を高めています。

また、近年の高齢化等から改めてふるさと意識への回帰が見られ、新たな交流機会の場が求められています。利用主体は、行政からの委託団体など公共系の割合が高く、スポーツ系、文化系で500を超えるグループが団体利用しています。

(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方

ニーズ及び意見・要望については、受付での予約・相談の際のほか、①センター委員会 ②利用者会議 ③自主事業参加者 ④近隣地区に居住するスタッフから吸収しています。

また、年一回の協会一斉アンケートを行うとともに『お客様の声』の活用など運営に反映していきます。今、団塊の世代と言われる人たちの退職者が増えています。前年度は、男性からの問い合わせにこたえて、男性向けの自主事業を企画したところ参加が多く、事業終了後も発展グループが立ち上がり、生き生きと活動する姿が見られました。『何かをしたい！』を求めている人たちが増えています。そこで、中高年の社会参加や異世代交流、趣味・教養、ニーズ等を勘案した講座を企画するとともに、地域の街おこしや、地域の活性化につながる事業を、区や地域と提携して計画してまいります。

また、来館者が実施を希望する自主事業や意見を随時提案できるように、館内にアンケート用紙を置き、多くのニーズを把握し、立案並びに館の運営に反映していきます。

(ウ) 他施設や行政関係機関との連携について

事業を運営するにあたり、他の地区センターやコミュニティハウスと必要な物品を貸し借りにとどまらず、共同で購入や連携して自主事業を企画していきます。

特に近接する桜道コミュニティハウスとの関係は重要と考え、イベントの共同化、自主事業での連携を行っていますが、更に利用者ニーズを的確に捉えた事業を地域・施設特性を勘案して企画実施を行ってきたいと考えています。

また、その他の地区センターやコミュニティハウスとともに、行政関係機関が主催する各種事業に積極的に参加し、各種情報の発信基地としての役割を担い、活力ある地域コミュニティの充実を目指します。

行政との連携として、港南区役所福祉保健センターで行っている区民へのサービス『ハチ駆除機器』の貸し出しを地域の方の利便性のため地区センター窓口で行っていくほか、地域の賑わいとなる「センターまつり」を近隣3施設と合同開催し、集客の増を図るなど、近隣施設との連携を強化し、地域コミュニティの充実に寄与してまいります。

事業計画書様式2-(5)

4 港南地区センターでのサービスの提供に対する考え方

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方

(イ) 会議室等の利用に関する取扱いについて

(ウ) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方

区民が気楽に利用する施設として、幼児から高齢者まで誰でもが気持ちよく利用できるよう公平・公正な運営のもとに、親切で明るくさわやかな対応を心掛け、可能な限り弾力的な運用、サービス向上を図ります。利用者の皆様に喜んでいただけるように、季節に応じた花を咲かせることや、気持ちよく利用していただくために、清潔を保つことを心がけます。また、利用の制限については、必要最小限にとどめます。

(イ) 会議室等の利用に関する取扱いについて

利用者相互で気持ちよく利用していただくために、事前のセットアップに努めるとともに、予約方法、弾力的利用などのサービスに努めます。

利用方法

- ① 利用者相互に支障がない場合の2分割利用(和室)ができる。
- ② 和室に座椅子を常備している。
- ③ ロビーや各部屋で軽飲食が可能である。(レクホール・プレイルーム・図書室を除く)
- ④ 稼働率の少ない部屋は、利用回数の制限を外している。又、部屋の他用途利用を促進する。
- ⑤ 飲料水自動販売機を各階に設置。
- ⑥ パソコン利用団体のためのインターネット環境の整備。

予約申込み

- ① 予約開始日を2か月前とする。(夜間は6ヶ月前に拡大)
2か月前(夜間は6ヶ月前)の当該日の予約申し込みにあたっては、申込者が多数来館するので、受付表・番号札・抽選等で公平を期し、申し込みやすいよう工夫。
- ② 電話予約は、改めて予約に来館されることを条件に受け入れる。

予約情報(空き室情報)

- ① 受付カウンター付近の案内板で、状況が確認できるようになっている。
- ② 横浜市 HP の施設ガイド・地区センター情報を随時改訂し、インターネット利用者の利便性を図っている。

(ウ) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

活動の場を必要とする個人・団体のニーズには、①利用可能施設の概要、料金など ②事業メニュー、講座内容、活動グループ ③講師、指導者紹介などがあり、相談内容に応じて、横浜市、港南区役所(港南区民活動支援センター)、地域ケアプラザ等の情報を可能な限り収集・提供するとともに、専門家の紹介・調整・活動の進め方、グループづくりなどについて、可能な範囲で支援します。

事業計画書様式2-(6)

5 自主事業計画

(ア) 自主事業計画の考え方

(イ) 自主事業の構成

(ア) 自主事業計画の考え方

① 計画の作成

港南地区センターの自主事業計画では、企画段階において地域や利用者からのニーズ、意見、要望や事業後のアンケートなどを適切に反映させると同時に、館としても地域に対して発信し、提案することが必要と考えており、自主事業の魅力の向上や地域内の交流と地域力の向上を図ります。

② 自主事業の実施方法

事業実施にあたっては、地域の様々なリーダーを講師・指導者として活用するとともにボランティアを取り入れていくことなどにより、地域に密着した地区センターの事業とします。また、そのことにより参加しやすい受講料とすることを目指します。さらに、スケールメリットを生かして協会の運営する施設合同事業も実施します。

③ 当館独自の取組

港南区の区政運営方針に掲げる“地域力の力と地域支援でつくる『誰もが安心して暮らせるまち』”を館の自主事業のテーマのひとつとして捉え、地域に根ざした事業展開を図ります。

(イ) 自主事業の構成

自主事業は、大別して次のような構成で計画・実施します。

(1) 親と子を対象に子育てを支援する事業

・自由な遊びやお話の会などを提供することにより、小さな子どもに対しての保育や親子のふれあいなど、子育て支援を実施します。

(2) 子どもの創造性を育む内容の事業

・子どもが自ら取り組むきっかけを与え、自主性や創造性を育みます。

(3) 子どもから高齢者が一緒に参加し、交流できる事業

・世代間の交流を広げるため、季節の行事を中心に展開します。

(4) 健康維持やハリのある暮らしへのきっかけづくりの事業

・『明るく元気な港南』を目指し、健康面や暮らしの充実に向け実施します。

(5) 地域活性化・ボランティア人材の発掘を目指す事業

・地域住民に『地域のことをもっと知ってもらい、地域を好きになって、よりいっそう住み良い地域となるため自分も役立ちたい』と受講者の自主的な行動に期待をこめた港南区役所との連携事業に取り組みます。

(6) 地区センター(港南、東永谷、野庭)・コミュニティハウス(桜道、日野南)・下野庭スポーツ会館

～6施設合同事業～ ・地球温暖化対策に寄与するテーマで実施します。

(7) センターまつりと関連する事業

・港南スポーツセンターや子育て支援施設『ハッチ』と合同で実施し、各施設の連携を深めます。

◆スポーツ及び子ども対象の事業については、必ず傷害保険に加入します。

6 施設の経営に関する考え方

(ア) 指定期間中の経営に関する基本的方針について

(イ) 効率的運営のための具体的な計画について

(ウ) 利用料金の単価の設定及び利用率の想定について

(ア) 指定期間中の経営に関する基本的方針について

区民利用施設の設置目的及び港南区区民利用施設協会に期待されている役割を、的確に遂行するために、利用者の満足度に資する円滑な運営・管理と魅力的な事業内容の提供を目指して、協会及び各館並びに事務局が一体となって、『経営』の視点を取り入れて総合的に取り組みます。

利用者への直接の対応は、各館が行いますが、複数施設を運営する当協会の優位性を生かして、役割の発揮とサービス向上に努めます。全体の管理運営面では、設備、機器、資材等のハード面及び事業企画、ノウハウ等のソフト面での連携・活用、予算の弾力的執行等を、財務面では、収入増加策及び経費の節減を図って参ります。各館の運営については、地域との連携した運営事業について評価と支援をいただいておりますが、より『わかりやすく、安心して、心地よい』をモットーに改善の努力を続けます。

(イ) 効率的運営のための具体的な計画について

当協会が行っている複数施設の運営は、

- ① スケールメリットを生かした予算の弾力的執行、職員の採用及び配置等、人事労務
- ② 運営面で利用者に分かりやすく公平であるための、統一的ルール等の設定、運用
- ③ 事業の計画及び実施に係る企画力、ノウハウの活用、連携による内容の充実
- ④ 資材、設備等の共用物品の共同購入による有効活用

などの点でメリットを有しており、

- ① 館長等職員の研修の充実と、事務局の総括・調整機能の強化
- ② 年間の業務スケジュールの場面ごとに、館長会議、副館長会議、スタッフ会議を機能的に開催する。

などにより、運営面での調整をはじめ、事業計画上の情報交換、連携、課題の共有・解決策の提示、重要事項の周知徹底等をきめ細かく行います。

収入面では、ニーズを捉えた魅力的事業を企画するなどにより、施設利用率の向上による利用料金収入の増加に努めるとともに、飲料水自動販売機の販売拡大及びPR媒体等における広告料収入へ向けて検討します。

(ウ) 利用料金の単価の設定及び利用率の想定について

現在は市の限度単価を採用し、稼働率については、前年の稼働実績(率)を基に、館のPR強化、サークルの育成、休日・夜間の利用促進などにより、利用率の向上を目指すこととします。

将来、稼働率向上等による、より以上の収入増加があった場合、

- ① 利用者への還元
- ② 稼働率向上を図る

ための割引料金制の導入などを検討していきます。

7 施設の運営に関する職員体制・情報保持等の考え方

- (ア) 職員の配置及び採用について
- (イ) 職員の研修計画について
- (ウ) 個人情報の保護の措置について

(ア) 職員の配置及び採用について

当協会は、地区センターに次のとおり職員を配置します。

常勤職員(館長1名・副館長2名)		時給職員(スタッフ12名)	
4週8休のローテーション勤務		1週間交替勤務	
早番	8時45分～16時45分	午前(2名)	9時00分～13時00分
遅番	13時15分～21時15分	午後(2名)	13時00分～17時00分
		夜間(1名)	17時00分～21時00分
		作業(1名)	7時30分～10時30分

常勤職員、時給職員の採用については、次の方針により、慎重に選考を行います。

館 長

管理運営の統括責任者として、職員の労務管理、館の経理、緊急時の対応、自主事業の企画・実施、スタッフの研修等各種の職務を職員に指示するため、広い視野で物事に当たり、指導力を兼ね備えた、地域に密着した区民利用施設の運営に意欲のある人材を選考します。

副 館 長

館長不在時には館長代理としての責務を担い、またスタッフをリードする立場から指導力及び協調性を兼ね備えた、地区センターの運営に意欲のある人材を選考します。

ス タ ッ フ

地域に密着した区民利用施設の役割を理解し、その一員として協調性を兼ね備えた意欲のある人材を地域住民を対象に公募し、慎重に選考します。

(イ) 職員の研修計画について

地区センターの職員として、次に掲げる3点の方針に従って研修を企画実施します。

- ① 利用者ニーズに適切に応え利用者サービスに徹する。
- ② 利用者の安全を十分に配慮し、緊急時の即時対応
- ③ 職員一人一人の能力の向上

(ウ) 個人情報の保護の措置について

当協会は、個人情報は施設利用者の資産であることの意識を徹底し、『個人情報取り扱い10か条』を策定し、個人情報を適切に取り扱うことを全職員に徹底しています。

まず、利用者の個人情報の取得は最小限にとどめ、他利用者の目に触れぬよう、整理・利用・保存の方法を考慮しています。また、書類等作成についても、常に意識を持ち、館長を中心として、職員相互によるダブルチェック態勢を機能させ、不用時の廃棄についても、方法を含め適切に処理するよう指導しています。

- 8 緊急時対策について
 (ア) 防犯、防災の対応について
 (イ) その他、緊急時の対応について

防犯・防災マニュアルを定め、館長をはじめとして全職員に、各種研修等機会を捉えて危機管理意識を徹底します。

(ア) 防犯、防災の対応について

○防犯の対応について
 開館時間内については、職員が常時注意を払って対応し、内容と状況により常備している緊急連絡先一覧により連絡する等、速やかに対応します。具体的ケースについては、下欄の分担表により対応します。
 また、『緊急通報システム』を導入し、緊急時に民間警備会社が即時対応できる体制とし、利用者及び職員のより一層の安全向上を図ります。
 夜間(閉館中)については、安全管理を円滑に行うため、民間警備会社に機械警備を委託しています。建物及びこれに付帯する物件につき、盗難、不法侵入その他不法行為及び火災、ガス等の発生を警報機器などでキャッチし、巡回中の車両が現場に急行するとともに、警察署・消防署等に連絡が行くようになっています。

○防火・防災
 館長に防火管理者の資格を取得させており、策定した防災計画に基づき対応します。また、消防署の協力を得て、毎年消防・防災訓練を実施します。
 設備関係については、法令による保守・点検を実施し、異常の場合にきちんと機能する状態を保持します。
 なお、激甚災害発生時には、地域に貢献するため、高齢者、乳幼児を抱える家族を対象に和室を活用して、休養面を中心とした支援を行うなど、行政の指定避難施設の役割を補充します。

(イ) その他、緊急時の対応について

緊急時には、勤務する職員全員で役割を分担し、利用者安全のために臨機応変に対応します。また、利用者に急病人が出た場合に備えて、各館に毛布を常備し、初期対応に生かします。

◎分担表<ローテーション勤務のため最小配置人数(夜間時間帯を除く)が3人となるため>

職 員	A	B	C
役 割	総括・連絡	現場対応	避難誘導

◎緊急連絡網

- ①警備委託会社等
- ②関係機関緊急連絡先『警察、消防、医療機関、学校等』
- ③施設職員、地区センター委員会委員
- ④施設協会事務局、区役所

自主事業計画書(1)

団体名 港南区区民利用施設協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
楽しいマジック入門	一般	48,000	28,000	20,000	24,000	19,000	5,000
	20人						
	1,000円						
歩いて巡る港南の歴史 「隠れた史跡を訪ねて」	一般	126,000	96,000	30,000	96,000	10,000	20,000
	30人						
	1,000円						
ゆる体操	一般	55,000	35,000	20,000	35,000	15,000	5,000
	20人						
	1,000円						
裁判員制度を知ろう	一般	21,000	21,000	0	11,000	0	10,000
	30人						
	無料						
街自慢探訪 [医食同源]	一般	98,000	50,000	48,000	30,000	48,000	20,000
	24人						
	2,000円						
リサイクル工房	一般	53,000	43,000	10,000	33,000	10,000	10,000
	20人						
	500円						
パソコン教室① 「入門コース」 「ワードエクセルコース」	一般	135,000	57,000	78,000	80,000	10,000	45,000
	13人×2コ-入						
	3,000円						
映画鑑賞会	限定なし	70,000	70,000	0	50,000	0	20,000
	100人						
	無料						
地区センター（港南、東永谷、野庭）・コミュニティハウス（桜道、日野南）・下野庭クラブ会館 ～6施設合同事業～ 『3R夢プランについて学ぼう』 -リサイクル工場及び食品工場見学- （収入・支出は6施設にて按分）	一般	40,000	22,000	18,000	0	0	40,000
	総数40人						
	1,500円						
始めよう藤工芸	一般	135,000	95,000	40,000	55,000	40,000	40,000
	20人						
	2,000円						
初心者フォークダンス教室 『楽しい輪』	50歳以上	43,000	31,000	12,000	40,000	0	3,000
	20人						
	600円						
男子厨房に入るべし	一般男子	92,000	52,000	40,000	32,000	40,000	20,000
	20人						
	2,000円						
	小計	916,000	600,000	316,000	486,000	192,000	238,000

自主事業計画書(2)

団体名 港南区区民利用施設協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
ちぎり絵入門	一般	84,000	60,000	24,000	50,000	24,000	10,000
	24人						
	1,000円						
パソコン教室② 「入門コース」 「ワードエクセルコース」	一般	135,000	57,000	78,000	80,000	10,000	45,000
	13人×2コース						
	3,000円						
クリスマスコンサート	限定なし	60,000	60,000	0	50,000	0	10,000
	100人						
	無料						
古典を読む	一般	68,000	8,000	60,000	48,000	10,000	10,000
	30人						
	2,000円						
横浜の野鳥を楽しもう	一般	88,000	48,000	40,000	28,000	40,000	20,000
	20人						
	2,000円						
無添加味噌作り	一般	56,000	20,000	36,000	10,000	36,000	10,000
	24人						
	1,500円						
書道入門	一般	80,000	40,000	40,000	40,000	30,000	10,000
	20人						
	2,000円						
小 計		571,000	293,000	278,000	306,000	150,000	115,000
合 計		1,487,000	893,000	594,000	792,000	342,000	353,000

わんぱくサタデー事業計画書

団体名 港南区区民利用施設協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人員	総経費	収入		支出		
	③一人当たりの参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
おはなしの広場	小学生以下	34,000	34,000	0	48,000	0	10,000
	10人						
	無料						
カプラ魔法の積み木	未就園児と保護者	58,000	58,000	0	24,000	0	10,000
	20組						
	無料						
お菓子作り教室	小学生以下と保護者	38,000	23,000	15,000	33,000	10,000	5,000
	10組						
	1,500円						
たなばたまつり	限定なし	5,000	5,000	0	0	5,000	0
	無料						
お楽しみ人形劇場	限定なし	60,000	60,000	0	40,000	0	20,000
	150人						
	無料						
子どものアトリエ 《第一弾》	5歳～小学生	37,000	27,000	10,000	22,000	5,000	5,000
	20人						
	500円						
夏休み工作教室	小学生と保護者	37,000	21,000	16,000	8,000	16,000	13,000
	20組						
	800円						
子どものアトリエ 《第二弾》	5歳～小学生	37,000	27,000	10,000	22,000	5,000	5,000
	20人						
	500円						
よく遊びよく遊べ	0歳～未就学児と保護者	60,000	45,000	15,000	50,000	0	10,000
	30組						
	500円						
	合計	366,000	300,000	66,000	247,000	41,000	78,000

自主事業別計画書(1)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
楽しいマジック入門	<p>(目的) 周りの人をまきこみ、楽しくさせるマジックを身につけて、家庭や職場や地域での人間関係を円滑で豊かなものとする。</p> <p>(内容) 楽しみながらマジックを覚え、子どもや知人に披露できるようにする</p>	<p>4月～5月 (4回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歩いて巡る港南の歴史 「隠れた史跡を訪ねて」	<p>(目的) 「温故知新」交通の手段が歩くことしか無かった昔の人々の足跡を辿って、歩くことでいつもは気づけなかった身近の自然を見つめ、地域を身近な存在として捉える。</p> <p>(内容) 講義を聞いた後、地元に残っている自然を求めて散策する。</p>	<p>4月～3月 (12回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆる体操	<p>(目的) 疲れやストレスなどで凝り固まった身体を、無理なく解しながら、内面から健康に導く。</p> <p>(内容) 一枚のマットの上で出来、家でいつでも気軽に出来る負担の掛からない体操を教わる。</p>	<p>5月～6月 (4回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
裁判員制度を知ろう	<p>(目的) 平成16年5月から始まった「国民が参加することにより、公平を目指すための裁判制度」である裁判員制度について学ぶ。</p> <p>(内容) 長い一生を考えると、国民の10%以上が候補者になるといわれている。 この裁判員制度について、ビデオや資料などを用いた講義により、制度の趣旨や概要を学ぶ。</p>	<p>6月 (1回)</p>

自主事業別計画書(2)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
街自慢探訪 「医食同源」	(目的) 「食は健康の源」身体に良くて、しかも美味しい料理を 教わり、家族の健康維持のために役立てる。 (内容) 食材の持つ特長を活かした、身体に優しい料理を習得し て地元の人たちと一緒にいただき交流の輪を広げる。	6月～2月 (3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リサイクル工房	(目的) 捨てればゴミになってしまう身近にある物を、形を変え て再利用する。学習したことは、地域に広めていく。 (内容) 予め不要になった材料を準備し、生活の中で役立つも のに変身させる。	6月～8月 (3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコン教室① 「入門コース」 「ワードエクセルコース」	(目的) パソコンの機能や役割について学び、各々の楽しさを 知って生活に役立てる。 (内容) まずはパソコンに慣れるための「入門コース」と一歩踏 み込んだレベルアップの「ワードエクセルコース」に分か れて勉強する。	7月 (4回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
映画鑑賞会	(目的) 経済が停滞し、不況が肌で感じられる現代、心温まる物 語の映画を鑑賞し別世界のひとときを楽しむ。 (内容) 皆が感動する映画作品を上映する。	8月 (1回)

自主事業別計画書(3)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地区センター(港南、東永谷、野庭)・ コミュニティハウス(桜道、日野南)・ 下野庭スポーツ会館 ～6施設合同事業～ 『3R夢プランについて学ぼう』 ーリサイクル工場及び食品工場見学ー	(目的) 平成17年から始まった横浜市のごみ減量対策「G30」は平成22年度の今、市民の生活に浸透してきている。「G30」の目標年を過ぎた本年、横浜市は、「G30」の成果を受け継ぎ「3R夢(スリム)プラン」を設定してごみの発生抑制・再使用・再生利用の推進を打ち出した。改めて参加者の皆様にごみの減量やリサイクルについて考えていただき、各家庭のさらなる取り組みに活かしてもらえることを目的とする。 (内容) ごみを減らすことだけではなく、リサイクルにも注目していただけるように、幅広い目的を備えた施設「横浜市金沢工場」の見学や日清オイリオ横浜磯子事業所の見学を予定。 「金沢工場」では、リサイクル作品作りコーナーなどのリサイクル講座なども体験していただく予定。 ごみの減量・リサイクルを進めるため、行政や企業の取り組みなどを学び、参加者の皆様の啓発をはかる。	9月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
始めよう藤工芸	(目的) 生活を豊かにする用具や楽しいアクセサリを次々とつくることができる藤づくりの基本の技法を講師から教わる。 (内容) 5回の講座で作品を仕上げる。	9月～11月 (5回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初心者フォークダンス教室 『楽しい輪』	(目的) みんなで手を繋ぎながら、楽しく踊り、一体感を感じる喜びを味わうとともに、地域に友達の輪を広げる。 (内容) フォークダンスのステップを教わり、無理をしないで楽しく踊る。	10月～12月 (4回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男子厨房に入るべし	(目的) 昔から「男子厨房に入るべからず」などと言われて来ましたが、今や大いに男子も率先して料理を習い、家族や地域に喜ばれる存在を目指す。 (内容) どこのご家庭にもあるような食材を使って、手早く出来しかも家族のみんなをあっと言わせるような、男ならではの料理を習得する。	11月～12月 (4回)

自主事業別計画書(4)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちぎり絵入門	(目的) はさみやカッターなどを使わず、指先で和紙を干切りながら趣きのある絵を描く。指先を使うことで脳の活性化を促す。 (内容) 染め上げた和紙の濃淡を生かし、優しい絵を描き完成させる。	11月～12月 (5回)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコン教室② 「入門コース」 「ワードエクセルコース」	(目的) パソコンの機能や役割について学び、各々の楽しさを知って生活に役立てる。 (内容) まずはパソコンに慣れるための「入門コース」と一歩踏み込んだレベルアップの「ワードエクセルコース」に分かれて勉強する。	12月 (4回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスコンサート	(目的) 利用者を巻き込んだ手作りのコンサート。クリスマス気分をみんなで味わう。 (内容) 生演奏を聞きながら、クリスマスの意味を感動深く心に刻んでもらう。	12月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
古典を読む	(目的) 毎年題目を変えて、古典の奥深い世界をじっくり追求してもらい、より好きになっていただく。 (内容) 名作を講師の先生が作った教材と講話で堪能してもらう。	1月～2月 (6回)

自主事業別計画書(5)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜の野鳥を楽しもう	<p>(目的) 自然環境の大切さを学びながら野鳥観察の楽しさを知り、地域に対する理解を深める。</p> <p>(内容) 日本野鳥の会のメンバーから「野鳥と自然環境」についての講義を聞き、野鳥の生態実施踏査をする。(横浜自然観察の森)</p>	<p>1月～2月 (3回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
無添加味噌作り	<p>(目的) 毎年好評で恒例化しつつあるこの講座に、度々参加してもらい味噌作りの基本を習得して、自家製味噌作りの名人になってもらい新たな地域の味を育む。</p> <p>(内容) 地域の味噌作り名人から国産の材料を使って、仕込みから保存方法を教わり6ヶ月後の熟成した味噌を味わう。</p>	<p>2月 (1回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
書道入門	<p>(目的) 筆を使って文字を書く機会の少ない現代、墨で描く文字の奥深い趣を味わってもらおう。</p> <p>(内容) まずは簡単な文字から始め、筆使いに慣れたら徐々に大きな書に挑戦してゆく。</p>	<p>2月～3月 (4回)</p>

わんぱくサタデー事業別計画書(1)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おはなしの広場	<p>(目的) 子育て支援。 幼児と母親の地域での友達作りの場とする。</p> <p>(内容) プレイルームで月1回“金色のポケット”のメンバー2人に依頼し、定期的に本の読み聞かせや紙芝居などを開催。</p>	<p>4月～3月 (12回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カブラ魔法の積み木	<p>(目的) 単純な形の積み木を積み上げ、思い思いの形を作って楽しむ。 子どもの持つ想像力や柔軟性を引き伸ばす。</p> <p>(内容) 講師が実際に積み木を使って見本を見せ、積み木の面白さを示す。</p>	<p>4月～3月 (12回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お菓子作り教室	<p>(目的) 子供の好きなお菓子を親子で共同で作り、親子のコミュニケーションを図る。 お菓子や出来上がりの満足感味わう。</p> <p>(内容) 講師から、様々なお菓子の作り方を学ぶ。出来上がりお菓子のおいしさを味わいながら、会話をする時間も設ける。家族へのお土産も作る。</p>	<p>5月～6月 (3回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
たなばたまつり	<p>(目的) 竹ざおを飾れない事情の家庭が多い中、色々な人たちと一緒に、願い事を短冊に込めて竹に吊るしてもらおう。 日本に古来からある風習を大切にして子どもたちにも受け継いで行ってほしい。</p> <p>(内容) センターで用意した竹ざおと短冊に、自由に願い事を書いてもらい吊るす。</p>	<p>7月 (7回)</p>

わんぱくサタデー事業別計画書(2)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お楽しみ人形劇場	<p>(目的) テレビゲームや携帯ゲーム機などが横行する現代に、老若男女を問わず皆と一緒に、劇団の皆さんが演出してくれる演劇をおおいに楽しんでもらう。</p> <p>(内容) 4団体が各々持ち味の違った題目と演出でみんなを楽しませる。</p>	<p>7月</p> <p>(1回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どものアトリエ 第1弾	<p>(目的) 子どもの個性を自由に表現できる絵や図工を、楽しみながら製作する。</p> <p>(内容) 絵の具だけではなく、紙や野菜や道具などを使ってユニークな作品作りをする。</p>	<p>7月</p> <p>(2回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み工作教室	<p>(目的) 様々な工具や道具を使って親子でひとつの作品を完成させ、喜びを分かち合う。</p> <p>(内容) 幾つかの作品の中からひとつを選び、講師の指導のもとで作品を完成させる。</p>	<p>8月</p> <p>(1回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どものアトリエ 第2弾	<p>(目的) 子どもの個性を自由に表現できる絵や図工を、楽しみながら製作する。</p> <p>(内容) 絵の具だけではなく、紙や野菜や道具などを使ってユニークな作品作りをする。</p>	<p>8月</p> <p>(2回)</p>

わんぱくサタデー事業別計画書(3)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よく遊びよく遊べ	<p>(目的) よく遊びよく学べ」と言うことわざがありますが、子どもは遊びの中で色々なことを学んで行くものです。友達との関わり方も遊びを通して学ぶことが多いようです。子育てのお手伝いの一環になればとの講座にしたい。</p> <p>(内容) 子どもの遊びを得意とする団体に色々な遊びを指導してもらい、遊びの中にルールを取り入れてマナーも勉強する</p>	<p>10月～3月 (5回) (12月は休み)</p>

(様式10)
平成23年度

収支予算書

施設名 港南地区センター

(単位:千円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	30,842				0	横浜市より
利用料金収入	3,201					
自主事業収入	660				0	
雑入	1,100	0	0	0	0	
印刷代	453				0	
自動販売機手数料	300				0	
その他(預金利子)	1				0	
その他(カラオケ使用料)	250				0	
その他()	96				0	自動販売機電気料他
収入合計	35,803			0	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	19,494	0	0	0	0	
給与・賃金	17,325				0	
社会保険料	1,540				0	保険料率UPに伴う増
通勤手当	500				0	
健康診断費	111				0	
勤労者福祉共済掛金	18				0	
事務費	1,520	0	0	0	0	
旅費	30				0	
消耗品費	860				0	
会議随い費	20				0	
印刷製本費	50				0	
通信費	270				0	
使用料及び賃借料	0				0	
備品購入費	200				0	
図書購入費	0				0	
施設賠償責任保険	20				0	保険金額増による
職員等研修費	10				0	
振込手数料	0				0	
リース料	0				0	
手数料	50				0	
地域協力費	0				0	
その他(諸費)	10				0	
事業費	1,853	0	0	0	0	
自主事業費	1,487				0	委893 参加費594
わんぱくホリデー	366				0	委300 参加費66
管理費	9,316	0	0	0	0	
光熱水費	4,958	0	0	0	0	
電気料金	2,300				0	
ガス料金	1,700				0	
水道料金	956				0	
清掃費	600				0	
修繕費	700				0	修繕予定箇所増
機械整備費	152				0	競争入札実施による減
設備保全費	2,908	0	0	0	0	
空調衛生設備保守	1,300				0	競争入札実施による減
消防設備保守	70				0	
電気設備保守	630				0	
害虫駆除清掃保守	38				0	
その他保全費	870				0	
共益費					0	
公租公課	1,049				0	
事務経費	1,504				0	
ニーズ対応費	1,067				0	
支出合計	35,803	0	0	0	0	

差引	0	0	0	0	0	
----	---	---	---	---	---	--